

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【公開番号】特開2011-69352(P2011-69352A)

【公開日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-014

【出願番号】特願2010-164414(P2010-164414)

【国際特許分類】

F 0 2 C	9/00	(2006.01)
F 0 1 D	25/00	(2006.01)
G 0 1 K	7/02	(2006.01)
G 0 1 K	7/16	(2006.01)
G 0 1 K	11/06	(2006.01)

【F I】

F 0 2 C	9/00	B
F 0 1 D	25/00	V
G 0 1 K	7/02	E
G 0 1 K	7/02	A
G 0 1 K	7/16	M
G 0 1 K	11/06	B

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

温度検出器(10)であって、

第1の金属(4)と、

前記第1の金属とは異なる第2の金属(6)と

を備えており、

前記第1の金属が複数のワイヤを含みまた前記第2の金属がワイヤを含み、

前記第1の金属の複数のワイヤが、並列接合部(8)として前記第2の金属のワイヤに接続され、前記並列接合部(8)の任意のひとつにおける温度変化により該温度変化にしたがった電圧変化を生成する、

温度検出器。

【請求項2】

タービンの部品(12)の温度変化を検出する方法であって、

複数の接合部(8)において互いに接続されかつ前記部品と接触状態になった第1の金属(4)及び該第1の金属とは異なる第2の金属(6)を備えた温度検出器(10)を準備するステップと、

前記複数の接合部(8)のうちの任意の接合部における、温度により生成された任意の電圧変化を検出するステップと

を含む方法。

【請求項3】

前記第1の金属が1以上のワイヤを含みまた前記第2の金属が1以上のワイヤを含み、

前記第1の金属の1以上のワイヤが、並列接合部として前記第2の金属の1以上のワイヤに接続される、

請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記接合部が、前記部品に螺旋状に沿って該部品と接触状態になっている、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記部品が、燃焼ノズル、バーナチューブ、キャップ及び／又はライナを含む、請求項2に記載の方法。